

第5期北九州市障害福祉計画・第1期北九州市障害児福祉計画の
目標等の管理シート

担当部局	保健福祉局 障害福祉部
------	-------------

成果目標	(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行
------	-----------------------

計画(P) ↓ 実施(D)	目標値	<p>○令和2年度末までの目標値</p> <p>ア <u>施設入所者の地域生活移行</u> 令和2年度末において、平成28年度末の施設入所者数の <u>9%以上が地域生活へ移行すること。</u></p> <table border="1"> <tr> <td>平成28年度末の施設入所者数（実績）</td> <td>1,403人</td> <td rowspan="2">9%以上移行</td> </tr> <tr> <td>令和2年度の地域生活への移行（目標）</td> <td>127人以上</td> </tr> </table> <p>イ <u>施設入所者数の減員</u> 令和2年度末の施設入所者数を平成28年度末時点の <u>施設入所者数から2%以上減員すること。</u></p> <table border="1"> <tr> <td>平成28年度末の施設入所者数（実績）</td> <td>1,403人</td> <td rowspan="2">2%以上減員</td> </tr> <tr> <td>令和2年度末の施設入所者数（目標）</td> <td>1,374人以下</td> </tr> </table> <p>【目標値の考え方】 地域生活への移行を進める観点から、平成28年度末時点の施設に入所している障害のある人のうち、今後、自立訓練事業等を利用し、グループホーム、一般住宅等に移行する人の数を見込み、その上で、令和2年度末における地域生活に移行する人の目標値を設定。</p>	平成28年度末の施設入所者数（実績）	1,403人	9%以上移行	令和2年度の地域生活への移行（目標）	127人以上	平成28年度末の施設入所者数（実績）	1,403人	2%以上減員	令和2年度末の施設入所者数（目標）	1,374人以下
		平成28年度末の施設入所者数（実績）	1,403人	9%以上移行								
令和2年度の地域生活への移行（目標）	127人以上											
平成28年度末の施設入所者数（実績）	1,403人	2%以上減員										
令和2年度末の施設入所者数（目標）	1,374人以下											

○活動指標等の一覧 [見込：各年度の月平均、実績：各年度3月の月間利用実績]

			H30	R1	R2
居宅介護・重度訪問介護 同行援護・行動援護・ 重度障害者等包括支援	利用者数	見込	1,989人	2,094人	2,204人
		実績	2,012人	2,003人	2,030人
	利用時間数	見込	41,929時間	42,757時間	43,630時間
		実績	43,867時間	45,164時間	50,334時間
生活介護	利用者数	見込	2,925人	2,965人	3,006人
		実績	2,913人	2,905人	2,938人
	利用日数	見込	57,233人日	58,015人日	58,817人日
		実績	58,476人日	61,166人日	65,067人日
自立訓練（機能訓練）	利用者数	見込	11人	11人	11人
		実績	16人	14人	8人
	利用日数	見込	229人日	229人日	229人日
		実績	342人日	305人日	177人日
自立訓練（生活訓練）	利用者数	見込	196人	204人	212人
		実績	160人	167人	203人
	利用日数	見込	3,603人日	3,970人日	4,374人日
		実績	3,168人日	3,175人日	4,119人日
就労移行支援	利用者数	見込	394人	412人	431人
		実績	346人	366人	383人
	利用日数	見込	6,589人日	6,890人日	7,208人日
		実績	5,987人日	6,836人日	7,220人日
就労継続支援（A型）	利用者数	見込	987人	1,039人	1,093人
		実績	965人	1,000人	1,055人
	利用日数	見込	19,836人日	20,881人日	21,981人日
		実績	19,700人日	21,307人日	22,440人日
就労継続支援（B型）	利用者数	見込	2,244人	2,397人	2,561人
		実績	2,374人	2,565人	2,662人
	利用日数	見込	38,985人日	41,858人日	44,941人日
		実績	40,643人日	48,066人日	49,755日
短期入所（福祉型）	利用者数	見込	529人	613人	711人
		実績	487人	450人	384人
	利用日数	見込	3,190人日	3,664人日	4,207人日
		実績	2,752人日	2,815人日	2,621人日
短期入所（医療型）	利用者数	見込	114人	150人	198人
		実績	78人	65人	60人
	利用日数	見込	495人日	608人日	746人日
		実績	444人日	398人日	334人
自立生活援助	利用者数	見込	100人	108人	116人
		実績	0人	0人	0人
共同生活援助	利用者数	見込	1,243人	1,367人	1,504人
		実績	1,243人	1,347人	1,441人
施設入所支援	利用者数	見込	1,463人	1,455人	1,448人
		実績	1,401人	1,356人	1,326人
地域移行支援	利用者数	見込	45人	50人	55人
		実績	20人	31人	23人
地域定着支援	利用者数	見込	80人	85人	90人
		実績	50人	45人	39人

計画(P) ↓ 実施(D)

活動指標(内容)

評価(C) ↓ 改善(A)	H30年度	<p>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</p> <p>【本市の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度末現在では、 <ul style="list-style-type: none"> ア 地域生活に移行した人数は22人(1.6%) ※目標値：平成32年度末で127人(9%以上)が移行 イ 施設入所者数は1,381人(1.6%減) ※目標値：平成32年度末で1,374人以下(2%以上減員)となっています。 <p>【国の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会保障審議会障害者部会(令和元年6月24日開催)の第4期障害福祉計画の都道府県の実績値では、それぞれア5.8%(目標値12%以上)、イ2.1%(目標値4%以上)と目標値に届いていない状況です。 <p>【主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所者の高齢化に伴い、入院や介護保険移行を理由とする退所が多くなり、施設入所者は減っている状況です。 <p>【今後について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。 <p>施設入所者の年齢階層別人数(国保連データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th colspan="3">北九州市</th> </tr> <tr> <th>平成25年8月</th> <th>平成31年3月</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40歳未満</td> <td>27.5%</td> <td>20.2%</td> <td>7.3%減</td> </tr> <tr> <td>40歳以上65歳未満</td> <td>56.5%</td> <td>59.2%</td> <td>2.7%増</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>16.0%</td> <td>20.6%</td> <td>4.6%増</td> </tr> </tbody> </table>	年齢区分	北九州市			平成25年8月	平成31年3月	増減率	40歳未満	27.5%	20.2%	7.3%減	40歳以上65歳未満	56.5%	59.2%	2.7%増	65歳以上	16.0%	20.6%	4.6%増
		年齢区分		北九州市																	
			平成25年8月	平成31年3月	増減率																
40歳未満	27.5%	20.2%	7.3%減																		
40歳以上65歳未満	56.5%	59.2%	2.7%増																		
65歳以上	16.0%	20.6%	4.6%増																		
<p>協議会等意見 【評価等に対する意見】</p> <p>特になし</p>																					
<p>改善(A) 【次年度における取組等】</p> <p>引き続き、地域における生活の場のひとつであるグループホームを開設する場合の初度設備に要する費用の助成を行うとともに、事業所に対する助言、指導を行います。</p> <p>また、地域で安心して生活できるように相談支援体制の充実を図るとともに、国に対して、事業所の施設整備に対する財政措置や運営体制に配慮した報酬の引き上げ等の要望を行います。</p>																					
評価(C) ↓ 改善(A)	R1年度	<p>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</p> <p>【本市の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度末現在では、 <ul style="list-style-type: none"> ア 地域生活に移行した人数は53人(3.8%) ※目標値：令和2年度末で127人(9%以上)が移行 イ 施設入所者数は1,356人(3.3%減)で目標値を達成しました。 ※目標値：令和2年度末で1,374人以下(2%以上削減) <p>【国の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会保障審議会障害者部会(令和2年1月17日開催)の障害福祉計画及び障害児福祉計画に係る基本指針の見直しにおいて、平成28年度末の施設 																			

		<p>入所者数を母数とした削減の割合は令和 2 年度末までに 1.6%となる見込みであり、現状の水準で推移した場合、令和 2 年度末の目標値である 2%を下回る状況です。</p> <p>【主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所者の高齢化に伴い、入院や介護保険移行を理由とする退所が多くなり、施設入所者は減っている状況です。 <p>【今後について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。 <p>施設入所者の年齢階層別人数（国保連データ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th colspan="3">北九州市</th> </tr> <tr> <th>平成 25 年 8 月</th> <th>令和元年 3 月</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40 歳未満</td> <td>27.5%</td> <td>19.1%</td> <td>8.4%減</td> </tr> <tr> <td>40 歳以上 65 歳未満</td> <td>56.5%</td> <td>60.0%</td> <td>3.5%増</td> </tr> <tr> <td>65 歳以上</td> <td>16.0%</td> <td>20.9%</td> <td>4.9%増</td> </tr> </tbody> </table>	年齢区分	北九州市			平成 25 年 8 月	令和元年 3 月	増減率	40 歳未満	27.5%	19.1%	8.4%減	40 歳以上 65 歳未満	56.5%	60.0%	3.5%増	65 歳以上	16.0%	20.9%	4.9%増
		年齢区分		北九州市																	
			平成 25 年 8 月	令和元年 3 月	増減率																
40 歳未満	27.5%	19.1%	8.4%減																		
40 歳以上 65 歳未満	56.5%	60.0%	3.5%増																		
65 歳以上	16.0%	20.9%	4.9%増																		
<p>協議会等意見【評価等に対する意見】</p> <p>特になし</p>																					
<p>改善(A)【次年度における取組等】</p> <p>引き続き、地域における生活の場の一つであるグループホームを開設する場合の初度設備費用に対する助成を行うとともに、事業所に対する助言、指導を行います。</p> <p>また、地域で安心して生活できるように相談支援体制の充実を図るとともに、国に対して、事業所の施設整備に対する財政措置や運営体制に配慮した報酬の引き上げ等の要望を行います。</p>																					
<p>評価(C) ↓ 改善(A)</p>	<p>R 2 年度</p>	<p>評価(C)【目標等を踏まえた評価、改善方策】</p> <p>【本市の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 2 年度末現在では、 <ul style="list-style-type: none"> ア 地域生活に移行した人数は 79 人 (5.6%) ※目標値：令和 2 年度末で 127 人 (9%以上) が移行 イ 施設入所者数は 1,326 人 (5.4%減) で目標値を達成しました。 ※目標値：令和 2 年度末で 1,374 人以下 (2%以上削減) となっています。 <p>【国の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国は第 6 期の障害福祉計画に係る成果目標においては、平成 28 年度末の施設入所者を母数とした地域生活移行者の割合は、平成 30 年度末時点で 2.4%であり、引き続き、現状の水準で推移した場合、令和 2 年度末の目標値である 9%を下回る状況になることは確実であることを踏まえ、第 6 期（令和 5 年度末時点）の成果目標を 6%に引き下げています。 <p>【主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所者の高齢化に伴い、入院や介護保険移行を理由とする退所が多くなり、施設入所者は減っている状況です。 																			

【今後について】

- 今後も、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。

施設入所者の年齢階層別人数（国保連データ）

年齢区分	北九州市		
	平成 25 年 8 月	令和 3 年 3 月	増減率
40 歳未満	27.5%	18.6%	8.9%減
40 歳以上 65 歳未満	56.5%	59.1%	2.6%増
65 歳以上	16.0%	22.3%	6.3%増

協議会等意見【評価等に対する意見】

- ① 減員することを目標とすることについての意見はないが、施設入所を必要としている方の把握をお願いしたい。
- ② 医療的ケアが必要な方や強度行動障害の方、精神科病院から強制的に退院となった方を受け入れていただける事業所（日中活動の場、生活の場、在宅サービスの利用）がほとんどなく、高齢の親など家族が抱え込んでいる現状がある。
グループホームが増えてもグループホームでは対応が難しい方が利用できることが入所施設、本当に適切な方が利用できる場所であることを願っている。
- ③ 身体障害のある人が利用できるグループホームが市内に少ないと思う。地域移行を推進しているのであれば、特に重度の身体障害のある人を受け入れるようなグループホーム設立への支援や安定的な運営に向けた報酬改善の国要望を行ってほしい。

改善（A）【次年度における取組等】

施設入所を必要としている方の把握について、次期計画の基礎資料とするため令和4年度に実施を予定している「(仮称)北九州市障害児・者等実態調査」において、施設入所者や未利用者に対し、今後の利用意向に係る質問項目を設定して、ニーズ傾向を把握する予定としております。

また、グループホームの拡充については、令和3年度の障害福祉サービス等報酬改定では、障害者の重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援のために、地域における生活の場であるグループホームにおいて、①基本報酬の見直し②重度障害者支援加算の対象者の拡充③医療的ケアが必要な利用者への支援の評価④強度行動障害を有する者の受入れを促進するための体験利用の評価⑤夜間支援体制加算の見直しなどの報酬の見直しが行われています。

なお、国に対しては、引き続き、利用者に対して必要かつ十分な支援を行うことができるよう適切な人員配置基準とするとともに、その人員配置が可能となる適正な本体報酬の単価を設定するように要望します。